



国際ロータリー第2730地区  
〔地区運営マニュアル〕

# 組織・活動力の強化 クラブ戦略計画





# 戦略計画 立案ガイド

ロータリー行動計画を土台として  
クラブでの体験を充実させ  
地域社会に持続的な変化をもたらす



# ロータリーの ビジョン声明



私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

## 四つの優先事項

**より大きな  
インパクトをもたらす**

奉仕プロジェクトのデータをより効果的な方法で定義、測定、分析するために必要な手続き、能力、インフラを築き、これを実行しましょう。

### クラブでの実践例

地域社会のニーズを反映した、より効果的な奉仕プロジェクトを立案する。

**参加者の  
基盤を広げる**

これまで会員がいなかった新しい層の人たちとロータリーの価値観を共有し、仲間を募ってロータリーを体験してもらう方法を生み出しましょう。ロータリーがインクルージョンと参加を促しながら、思いやりをもって、変化を生み出すという大きな目標を掲げていることを身をもって示しましょう。

### クラブでの実践例

これまで協力したことのない団体や地元のリーダーと協力する。

**参加者の  
積極的な  
かかわりを促す**

すべての出合いをロータリーへの参加の機会として生かすことで、ロータリーを通じて地域社会や関心のある分野で大きな変化を生み出せることができることを示しましょう。

### クラブでの実践例

クラブの活動に貢献していると全会員が感じ、クラブとかかわるすべての人が意見や提案を述べたり、積極的に参加したりできると感じられるようにする。

**適応力を  
高める**

私たちが学び、進化し、地域社会によりよく奉仕できるよう、研究と革新、および進んでリスクを負うことを奨励する文化を作りましょう。

### これは、クラブで 次のような形で行われます

クラブが会員や入会候補者のニーズに応えられるよう、どのような活動を継続、開始、中止すべきかを会員に尋ねる。

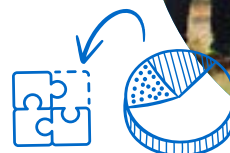


## このガイドについて

目的地にたどり着くために地図が必要となるように、クラブや地区が目標とビジョンの達成に向けて行動するには戦略計画が必要となります。持続可能な変化を生むために人びとをつなぎ、行動を起こすというビジョンに向けた長期的な指針であるロータリーの行動計画は、会員が望むロータリーの姿に基づいて形づくられたものです。

これと同じように、クラブも戦略計画を立案し、会員がロータリーに求めている体験を生み出すための指針とすることができます。戦略計画の立案プロセスを通じて、クラブが直面する課題を認識し、その根本的な原因に取り組む方法を見つけることができます。また、クラブでの体験と地域社会での存在感を高める方法も見つかるでしょう。ロータリーが実施した調査によると、戦略計画を立て、それを実行しているロータリークラブは、そうしていないクラブと比べてより活発であり、会員の満足度も高いことが分かっています。

この戦略計画立案ガイドは、行動計画の枠組みと目標を土台としてクラブの戦略計画を立て、クラブのビジョンと長期的優先事項を定めるのに役立つ資料です。ロータリークラブとローターアクトクラブ向けですが、地区でもご利用いただけます。



## 戦略計画立案プロセスの概要

| 第1段階<br>現状分析：<br>クラブの現状はどうか？   | 第2段階<br>ビジョンの作成：<br>どのようなクラブになりたいのか？   | 第3段階<br>計画の作成：<br>どのようにビジョンを実現できるか？   | 第4段階<br>進捗の確認：<br>目標への進み具合はどうか？   |
|--|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 取り組むべき重要課題を特定する</li> <li>→ クラブの長所と短所を見極める</li> <li>→ 地域社会にある機会と課題を見極める</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ クラブに求める特徴をいくつか挙げる</li> <li>→ 人びとに認知してもらいたいクラブの特徴について考える</li> <li>→ ビジョン声明を書く</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 焦点を当てるべき戦略的優先事項を特定する</li> <li>→ 目標を立てる</li> <li>→ 実行項目、期日、必要なリソース（資金的サポートなど）をリストアップする</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 目標に向けた進捗を確認する</li> <li>→ 目標を達成できなかった場合、その理由を特定する</li> <li>→ 必要に応じて戦略計画に調整を加える</li> </ul> |

### はじめよう

- 戦略立案の経験や関心のある会員、および元・現・次期クラブリーダーや委員会メンバーから成るチームを編成しましょう。このチームが、会員が描いたクラブの将来のビジョンを反映した戦略計画を立てます。
- 戦略計画立案セッションのファシリテーター（進行役）を選びます。ファシリテーターは、戦略立案やファシリテーション（進行）の経験のあるクラブリーダー、地元の専門家などが務めることができます。
- さまざまな意見を集めるために、多様な経験や専門知識を持つ会員に参加してもらいます。
- クラブのビジョン声明がロータリーの戦略的ビジョンに沿ったものとなるようにします。
- クラブの戦略計画立案の枠組みとして行動計画を使用します。

**ヒント**

地域社会の人びとにも戦略計画立案セッションに参加してもらうことで、多様な視点を反映させることができます。

### ファシリテーションガイド

戦略計画の立案は、会員の積極的参加を促す機会となります。戦略計画立案セッションを行う際には、このガイドに含まれているワークシートとともに、「ファシリテーションガイド」を利用することをお勧めします。参加に関心を示したすべての会員に参加してもらいましょう。多様な見解をもつ人が多ければ多いほど、会員の要望をよりよく反映した戦略計画を立て、会員が願う共通のビジョンをつくり上げることができます。

## 第1段階 現状分析： クラブの現状はどうか？

クラブの長期的目標を立てる前に、以下を行うことが重要です。

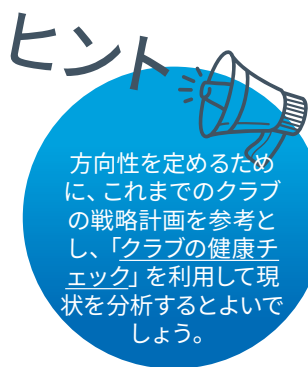
- クラブが直面している重要課題を特定する
- 会員から意見を集め、何に満足しているか、何を变えたいかを尋ねることで、クラブの長所と短所を特定する
- ほかの団体やグループのリーダーと会合し、地域社会にある機会と課題を特定する

### クラブが直面している機会や重大な課題を特定する

戦略計画を通じてクラブで取り組みたい重要課題や問題は何かを考えてみましょう。

課題を特定するために、以下のような質問を会員に尋ねます。

- 会員や参加者が望むことのうち、現在クラブが満たせていないことは何か。
- 奉仕プロジェクトを通じてクラブが取り組める地域社会のニーズは何か。
- クラブに多様な会員が入会しない、または多様な会員が維持できない／積極的に参加していない場合、それはなぜか。
- 地元のどのような人たちにクラブの活動に参加してもらおうべきか。それはなぜか。
- 廃止できるクラブでの手続きやプロセスがあるか。
- クラブで試みることができる新しいアイデアには、どのようなものがあるか。どうすればそれを実行に移せるか。




課題

特定した課題を優先事項別に分類しましょう。そうすることで戦略的に検討することができます。これらの課題は、四つの優先事項にバランスよく分かれていても、一部の優先事項に集中していても、どちらでも構いません。

| より大きなインパクトをもたらす | 参加者の基盤を広げる | 積極的なかかわりを促す | 適応力を高める |
|-----------------|------------|-------------|---------|
|                 |            |             |         |

### クラブの長所と短所を特定

会員から出された意見を基に、クラブで何がうまく行っているか（長所）、行っていないか（短所）を挙げてみましょう。

**ヒント** 

会員満足度調査を実施すれば、クラブの長所と短所を特定して、より魅力的な体験ができるクラブとなることができます。

長所

短所

## 地域社会にある機会と課題を特定

地域社会にある機会をリストアップし、クラブでそれをどのように生かせるかを考えてみましょう。例えば、地域社会で増えている職種や属性グループから会員を募ったり、起業や事業の発展を支えるためのメンタリングを行ったりできるかもしれません。また、失業率や教育の質など、クラブで取り組める地元の課題も挙げてみましょう。

機会

|  |
|--|
|  |
|--|

課題

|  |
|--|
|  |
|--|

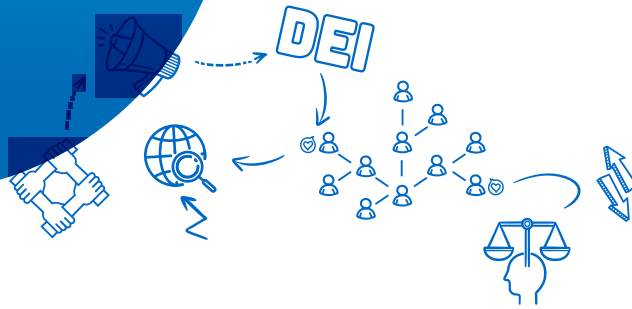
## 第2段階

### ビジョンの作成：

どのようなクラブになりたいのか？

どのようなクラブになりたいのかを決めるために、戦略計画立案チームが協力して次のことを行います。

- クラブに求める特徴をいくつか特定する
- 人びとに認知してもらいたいクラブの特徴は何かを考える
- ビジョン声明を作成する



### クラブの特徴

ロータリーのビジョン声明では、「持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する」ことを求めています。このビジョンを実現するために、3～5年以内に実現したいクラブの特徴を5～7つ挙げてみましょう（「奉仕活動が充実」「楽しい」「革新的」「地域社会を代表」など）。

### 特徴

|  |
|--|
|  |
|--|

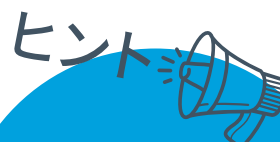
## クラブはどのようなことで認知されたいのか？

クラブが地域社会で行っていることについて、人びとにどのように認知してもらいたいかを考えてみましょう。地元に移住してきた人に知ってもらいたいクラブの活動は何か、クラブが地域社会にもたらしたい恩恵は何かを書き出してください。

例として、大学進学を希望する高校生のための放課後学習指導プログラム、家のない人のための小住宅建設などがあります。

## クラブのビジョン声明

ビジョン声明は、自分たちが望む未来を定義し、クラブが望む方向性を示すものです。リストアップしたクラブの特徴を参照し、クラブがどのようなことで認知されたいのかを考えながら、戦略計画立案チームで一文のビジョン声明を書いてみましょう。



ビジョン声明は、クラブ会員の思いを汲んだ内容とする必要があります（例：「当クラブのビジョンは、地元の若者を有意義なかたちでサポートしていることで認知されることです」）

以下のような質問について考えてみましょう。

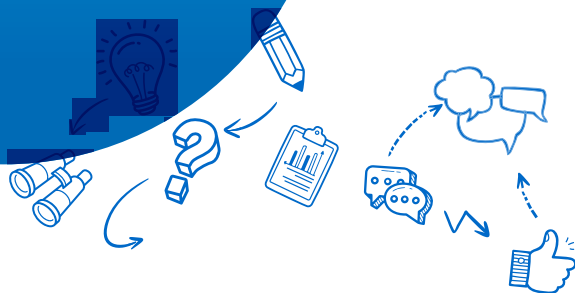
- クラブは3～5年後にどのようなになっているか
- 何を達成したいか
- クラブの成功はどのようなかたちで現れるか

## ビジョン声明

## 第3段階

### 計画の作成：

どのようにビジョンを実現できるか？



クラブの戦略的優先事項に焦点を当て、目標の達成に向けた計画を立ててください。そのために、以下のことを行いましょう。

- クラブが焦点を当てる戦略的優先事項を特定する
- 目標を立てる
- 実行項目、実行期日、必要なリソース（資金的サポートなど）をリストアップする

目標は、クラブにとっての機会や重要課題に焦点を当て、ロータリーの戦略的優先事項に沿ったものとするべきです。次期リーダーと協力することも、複数年にわたる目標の継続性を確保するために不可欠です。

次のページの表に、それぞれの目標と関連する優先事項（より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、積極的なかわりを促す、適応力を高める）、実行項目、必要なリソース・人材、担当する会員、達成期日を記入してください。戦略計画は通常、3～5年の周期で実行されるため、クラブリーダーの交替と引継ぎも考慮に入れてください。

**目標を立てる際、以下のことを考慮しましょう。**

- ロータリーのビジョン声明と行動計画
- クラブの長所と短所
- 地域社会にあるニーズ、機会、課題
- 会員と参加者のニーズと要望
- 現実的にクラブが3～5年以内に達成できること



目標の詳細

| 優先事項<br>(より大きなインパクトを<br>もたらず、参加者の基盤を<br>広げる、積極的なかわり<br>を促す、適応力を高める) | 目標 | 実行項目 | 必要なリソースと達成<br>期日 | 担当する会員 |
|---|----|------|------------------|--------|
|   |    |      |                  |        |
|   |    |      |                  |        |
|   |    |      |                  |        |
|   |    |      |                  |        |
|   |    |      |                  |        |

## 第4段階 進捗の確認： 目標への進み具合 はどうか？



### 進捗の確認

戦略計画立案チームが目標に向けた進捗を確認し、必要に応じて計画への変更を提案しましょう。新しいクラブリーダーが指名されたら、戦略計画と進捗状況について話し合ってください。新しいリーダーが変更の必要性を提案または理解できるよう、十分に計画を把握しておくことが重要となります。期待どおりの進捗が見られない場合には、新しいアプローチを試したり、目標に向けてより多くのリソースを配分したりできます。

進捗を確認する際にこの表の質問を参考にできます。

目標に向けた進捗確認の計画

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 目標達成に向けた進捗をどのくらいの頻度で確認するか  |  |
| どのような指標を使って達成を測るか、何を基準とするか |  |
| どのように進捗状況をクラブ会員に伝えるか       |  |
| 誰がクラブの戦略計画と目標への変更を承認するか    |  |

## 未達成の目標の確認と計画の調整

進捗を確認する際は、達成されていない目標とその理由を含め、目標をすべて書き出します。その上で、必要となる調整と、未達成の目標のための実行項目を決定してください。

### 未達成の目標について検討する際のポイント：

- 達成した目標は何か
- 未達成の目標は何か
- 達成できなかった主な理由は何か
- 達成するためにどのような調整が必要か

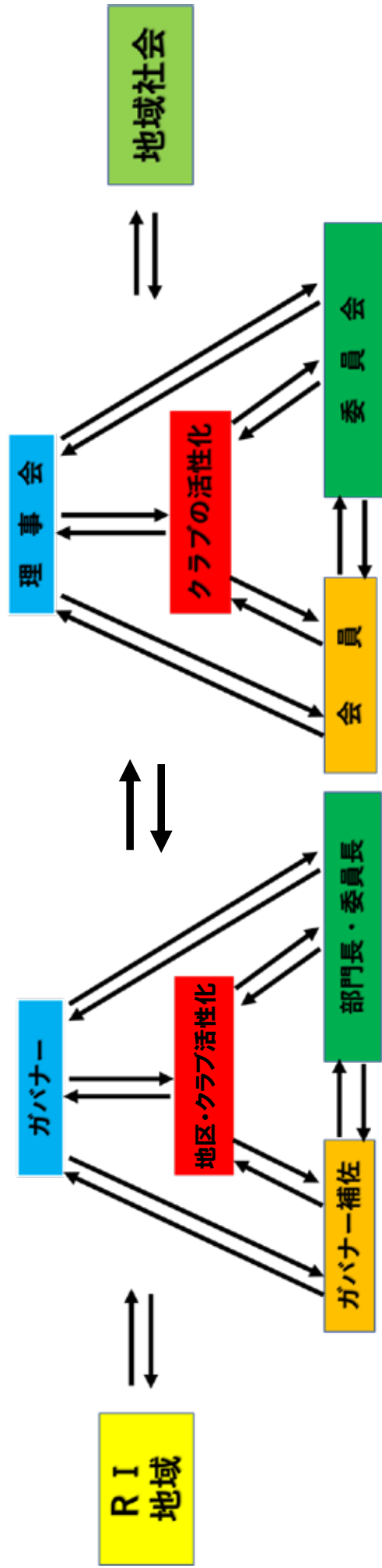
| 目標 | 達成／未達成 | うまくいったことは何か | 改善点は何か | 今後は何をどのように変えるか |
|----|--------|-------------|--------|----------------|
|    |        |             |        |                |
|    |        |             |        |                |
|    |        |             |        |                |
|    |        |             |        |                |
|    |        |             |        |                |
|    |        |             |        |                |
|    |        |             |        |                |

これでクラブの戦略計画が作成されました。戦略計画の立案は継続的なプロセスであり、状況に応じて見直しを行い、変更を加えることができることを覚えておきましょう。

# 地区とクラブのコミュニケーション計画

## 継続性・連携の重要性

地区リーダーシッププラン (DLP) クラブリーダーシッププラン (CLP)



地区とクラブのコミュニケーション計画

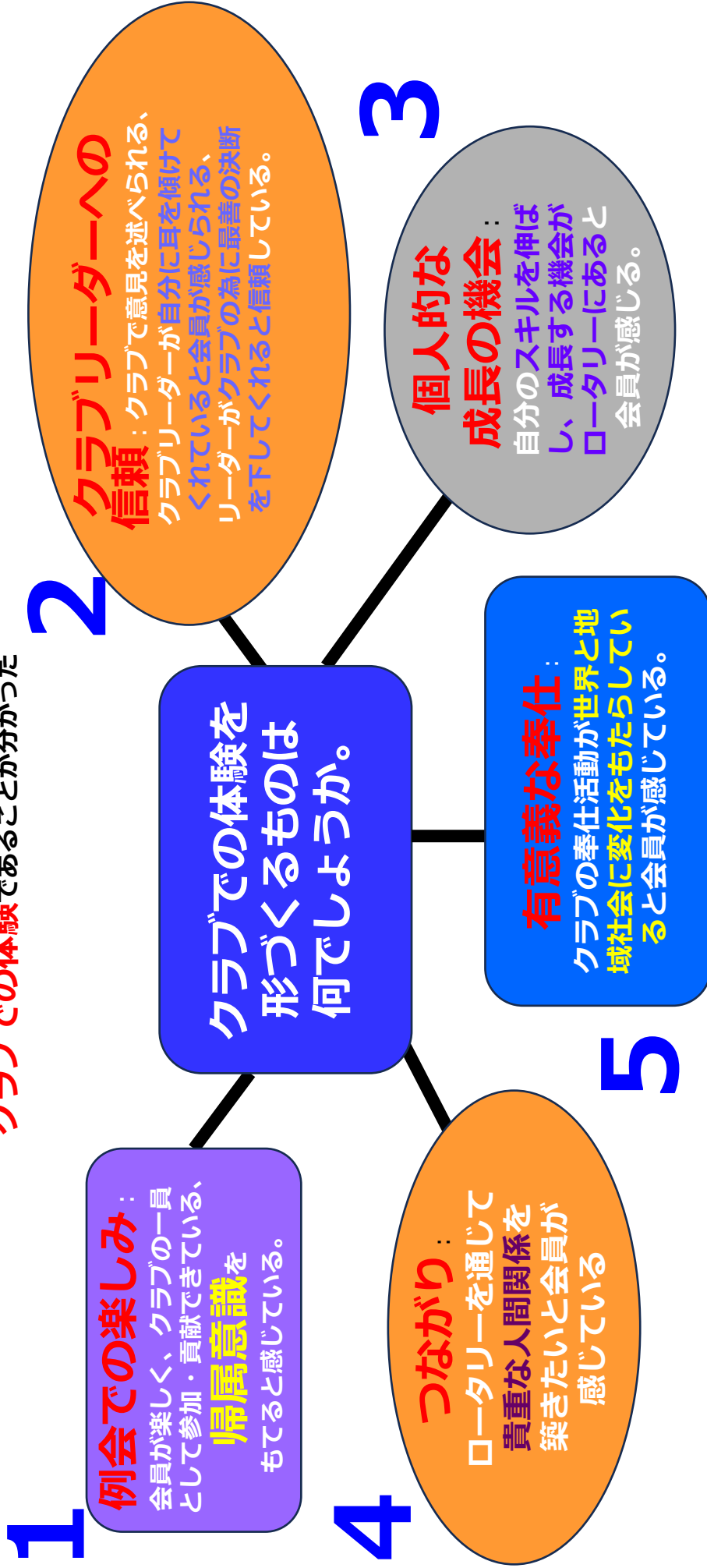
地区・ロータリークラブはロータリーの基本理念に基づき行動することが求められています。地区においてはガバナーとガバナー補佐と部門長（委員長）との継続性と連携が、クラブにおいては理事会と委員会と会員がDLPとCLPにおいて築かれています。すなわち、DLPとCLPによってクラブ活性化に向け連携が取れるように機能していくことが重要です。ロータリークラブが地域社会に持続可能なよい変化をもたらすための会員の会員の基盤強化、奉仕プロジェクトの増加、公共イメージ向上への行動するコミュニケーションが大切です。



# 大切なのはクラブにおける体験

## 最も大切なのは「クラブでの体験」

ロータリーが最近行った調査によると、会員満足度を高める最も重要な要素は  
クラブでの体験であることが分かった



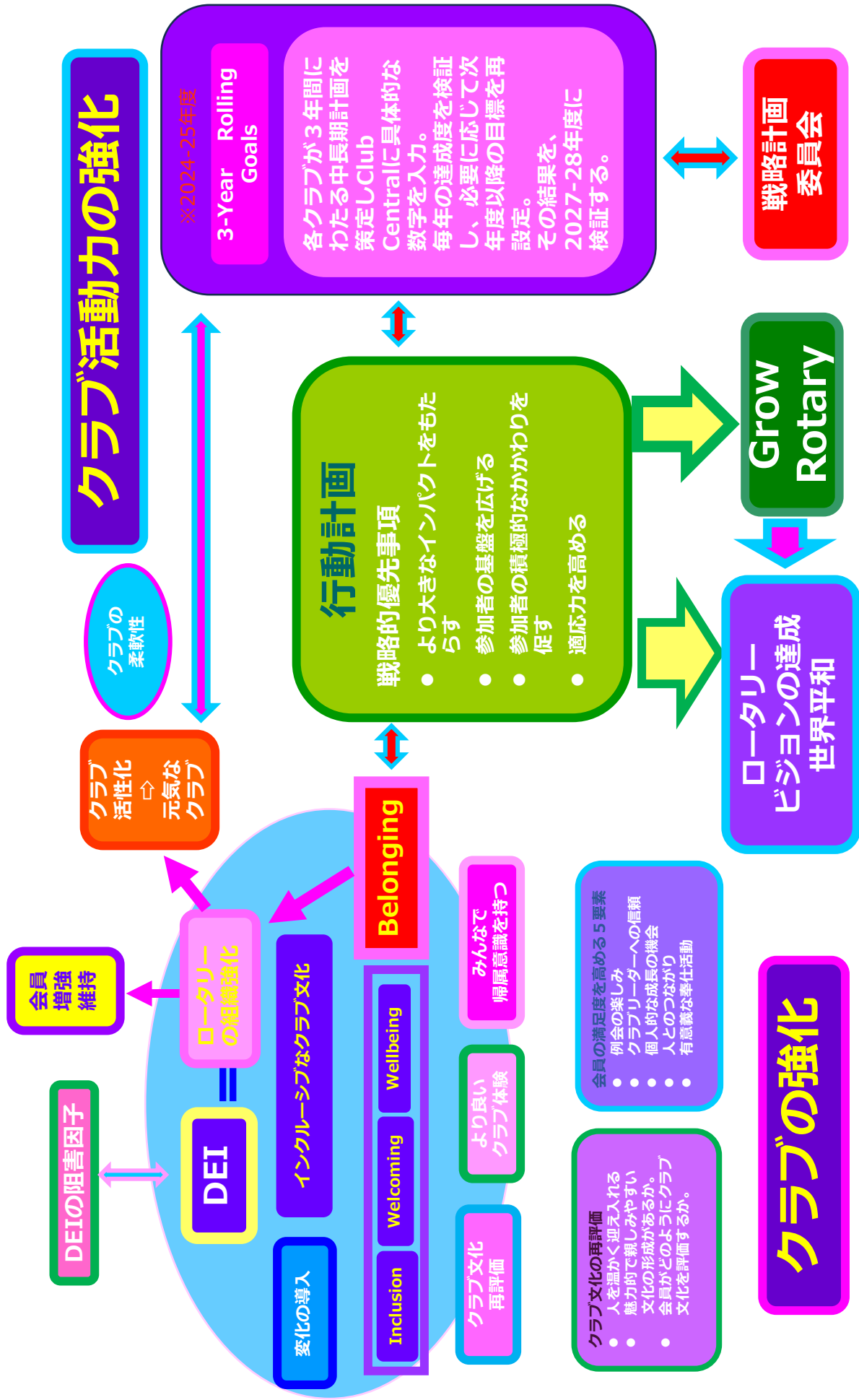
## 大切なのはクラブにおける体験

ステファニー・アーチック RI 会長は、国際ロータリーが行った調査により、会員満足度を高める最も重要な要素は「クラブでの体験」だとしています。

『クラブでの体験』では、お示ししている5項目を理解することが重要です。

- 1) 最初に、例会での楽しみを挙げ、例会での楽しみはクラブの一員として帰属意識を高める効果があり、
- 2) 会員は信頼感を自覚できるクラブリーダーへの信頼を求めています。
- 3) そして、会員がロータリーに在籍することで、自分のスキルを伸ばし、個人的な成長する機会があると感じることが重要であるとし、
- 4) さらに、会員同士のつながりが重要で、ロータリーを通して貴重な人間関係を築きたいと望んでいます。
- 5) そして最終的に、有意義な奉仕活動を通して、世界と地域社会に変化をもたらしたいと会員が考えている、こういった要素が『クラブでの体験』であるとしています。ステファニー・アーチック RI 会長は、クラブでの体験を重視し、新たにインクルーシブなクラブ文化を創造するためには、クラブ会員全員が参加し、クラブが変化を受入れることが必要であると訴えています。

# 最近の動向 - 組織・活動力の強化 -



## 最近の動向 —組織・活動力の強化—

### DEI を中心に

最近の RI の動向について、DEI を中心にシエーマ化したものです。繰り返しますが、DEI に関連して、インクルーシブなクラブ文化を再評価するためには、

- 1) クラブ文化を変更する必要があるとクラブが判断したさいには変更は消極的な会員や反対を表明する会員を排除することなく、むしろ変化の中心に置き、何故消極的になっているのか、または反対の理由とは何なのかを傾聴し十分協議し、全員でクラブの未来像を描いていかなければなりません。
- 2) より良いクラブ体験を実践するためには示している「会員の満足度を高める5つの要素」を基本とした体験を検討する必要があります。
- 3) その結果、クラブ会員の帰属意識が高まり、クラブの柔軟性を加味しクラブの活性化に努めることが必要です。

繰り返しますが、ここで重要なことは、

- a) Inclusion とは、クラブが全ての会員を思いやりの心で迎え入れ、
- b) Welcoming では、会員がクラブに自分が受け入れられている、歓迎されていると感じることが大切です。
- c) 個々の会員の能力をフルに発揮させ、コミュニケーションを円滑に維持していく為には、多様性を認める事と Wellbeing を理解する必要があります。会員増強をはかる為にも、魅力あるクラブ、会員が大切にされているクラブ、クラブ環境や人間関係が整っているクラブを維持するよう全員で努力していかなければなりません。クラブ会員の努力が継続され、クラブが成長することができれば、会員一人ひとりが、
- d) Belonging（帰属意識）を持つことでクラブへの愛着心がアップし、会員を大切にするクラブ環境や人間関係が豊かなクラブと認知されることで、クラブでの帰属意識をさらに高めることにつながります。

会員がクラブに所属することで心身ともに健康で活動できるクラブ環境を整備することが必要であり、会員のクラブへの帰属意識を向上させることの重要性を理解して頂きたいと思います。最終的に、現代社会における Diversity が倫理人権問題から経営問題にシフトし、「経営成果を得るための戦略的 ダイバーシティ・マネジメント」へ発展し、その

主目的が“組織強化へと変化”してきたと同様、ロータリーの DEI は究極的なロータリー組織の強化を目的としているといっても過言ではない。

ロータリーの DEI が“ロータリー組織の強化策”の一つであるとししました。

組織の強化策により組織が改善されれば、行動がより積極的に実行されるでしょうか？

DEI を難しいと感じられる方がいらっしゃるのと同様に、この記載された文章から行動計画をどのように推進するか、難しく考えられる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

そこで、2023年10月RI理事会は、2024-25年度からクラブ、地区、ゾーンレベルの3年間の段階的なターゲットと地域計画を設定するプロセスを承認。これにより行動計画をより積極的に取り組めるよう新たな方法を承認しました。それを示しているのが“3-Year Rolling Goals”です。

この新たな取り組みが発表され、逆に戸惑いを感じる方もいらっしゃるかもしれません。私は個人的には、RIがDEIを通して新たな組織の強化策を示したその一方で、どのように活動力の強化を図るのか、非常に興味を持っておりました。

私たちの手でロータリーの未来を創造することができる、新たな方向性が具体的に数値目標として明示されたことで、ようやく私の頭の中でRIが考える二つの方向性を理解することができました。

それは、“組織の強化のためのロータリーのDEI”、そして、“活動力強化を目的とした行動計画を推進するための3-Year Rolling Goals” この2つの施策がしっかり実行されることで、私たちが自らの力でロータリーの未来への途を切り開くことができると言っても過言ではありません。是非、各クラブ、また地区において、会長、DGを中心とした3年委員会としてクラブ、地区の戦略計画委員会等を設置し継続協議を行うこともご検討下さい。

これからのロータリーの未来を創造するため私たちは、この二つの強化策を理解し、数値目標の達成に向け活動を推進し、ロータリーのビジョン達成に向けた活動を継続することが重要です。

第 2730 地区指導者育成セミナー

2023-24 年度 RI ラーニングファシリテーター

2024 年地区大会 RI 会長代理 中谷 研一

## クラブセントラル(マルチイヤー対応) 目標を設定してクラブの未来を築く

成功している多くのクラブは、将来の計画を立てています。

会員が1年、2年、3年で何を達成したいかを一緒に決めると、クラブに方向性を与え、会員に共通の目的を与えることで成功への準備が整います。

各ロータリー年度が始まる前に、新リーダーはクラブの現在の状況を基準として、今後数年間の戦略計画をガイドとして使用し、ロータリークラブセントラルでクラブの目標を設定する必要があります。これで、一度に3年間の目標を設定できます。

将来のクラブリーダーは、常に3年先の計画を立てながら、必要に応じて目標を調整できます。クラブリーダーとして協力して、ロータリークラブセントラルの26の目標を確認し、どの目標がクラブのニーズと目標に最も適しているかを判断します。

ロータリークラブセントラルで目標の少なくとも半分を設定して達成すると、クラブは今年度のクラブ優秀賞を受賞します。

ロータリーの理事会は、クラブを強化し、ロータリーが持続的な変化を生み出すのに特に効果的な**6つの最優先目標**を選択しました。これらの目標は、ロータリークラブセントラルに掲載されており、達成すると**クラブ優秀賞**の対象となります。目標を設定する際には、次の質問を検討してください。

- **戦略計画:** クラブには最新の戦略計画がありますか?
- **クラブ会員:** ロータリー年度末までにクラブに何人の会員を擁させたいですか?
- **奉仕活動への参加:** ロータリー年度中にクラブの奉仕活動に参加する会員はどれくらいいますか?
- **年次基金への寄付:** ロータリー年度中にクラブとその会員はロータリー財団の年次基金にいくら寄付しますか?
- **ポリオプラス基金への寄付:** ロータリー年度中にクラブとその会員は財団のポリオプラス基金にいくら寄付しますか?
- **ベネファクター:** ロータリー年度中に、財団に遺産計画に基金を受益者として含めていること、または基金に1,000ドル以上の直接寄付を行うことを通知する個人またはカップルは何組ですか?

クラブ会長、幹事、会計、副会長、事務局長/理事、財団委員長、会員委員長、公共イメージ委員長、奉仕プロジェクト委員長、またはクラブ学習ファシリテーターである場合は、ロータリークラブセントラルで目標を編集できます。

これらのリーダー全員がロータリークラブセントラルにアクセスできるようにするには、彼らが My Rotary アカウントを持っていること、および My Rotary またはクラブ管理プラットフォームを通じてロータリーに役割が報告されていることを確認してください。

(発出レターの和訳=Google 翻訳)

## 3年間の目標(3 Year Rolling Goals)

### クラブ

3年間の目標を設定するためには、クラブ戦略計画委員会、理事会、向こう3年間の会長候補者や委員長などを巻き込んだ議論が必要になります。場合によっては委員長の任期を複数年にするなど、より継続性を担保する方法をクラブの新しい文化として取り入れる必要があるかも知れません。

#### 1. 【クラブセントラルへの次年度目標入力】※

3年間の目標入力と管理は、クラブセントラルでおこないます。クラブセントラルは現在 RI によって3年の目標が設定できるように改変中ですので、まずは次年度の目標を入力しましょう。(次のステップの「3年間の目標フォーマット」によって変更が出た場合は再度入力し直すことが可能です。)

#### 2. 【3年間の目標フォーマットの入力】

次に上記のクラブセントラルの改変に備えるために、右記(下記)のリンクボタンからファイル(3年間の目標フォーマット excel ファイル)をダウンロードして、3年間の目標を項目に従って入力しておきましょう。その後クラブ内でよく協議して、理事会等の承認を経て会員全員で共有することが大切です。(継続性)

\* 「3年目標のフォーマット」は6月30日以降に地区ごとにとりまとめ提出いただく予定ですが、スケジュールは未定です。まずはクラブで完成させ保持していただきますようお願いいたします。

#### 3. 【クラブ戦略計画の立案】

3年間の目標を立てたら、戦略計画立案ガイドに沿ってクラブの3年間の戦略計画を立てましょう。

#### 4. 【目標設定の見直し】

毎年目標の達成度を検証し、必要に応じて次年度以降の目標と戦略計画を再設定(Rolling Goals)して下さい。また、4半期ごとに進捗や達成度の管理を行ないましょう。

#### 5. 【クラブ行動計画推進リーダーの選任】

クラブはこの目標の達成をより推進するために「クラブ行動計画推進リーダー」を選任してください。

※ 2024/10/23 クラブセントラルは「マルチイヤー」に対応しました。

3年間の目標フォーマットで設定した目標値を、クラブセントラルに転記入力して下さい。

## 地区

- ① ガバナーやガバナー補佐及び関連する地区委員長は、クラブセントラルでクラブの目標の達成度の進捗を管理し、必要に応じてサポートをおこなって下さい。
- ② クラブの3年間の目標作成をサポートできる体制を構築して下さい。(マイロータリー登録、クラブセントラルの使い方、新クラブ設立のノウハウ、行動計画の知識習得等のセミナー開催など)
- ③ 3年間の目標達成の責任者(プランリーダー)を選任し、PG、AG、GN、GND や担当の地区委員長を巻き込んだ幅広い議論の場を設けて下さい。
- ④ また、「行動計画推進者(アクションプランチャンピオン)」を1名以上専任し、クラブへの理解浸透を図ってください。

**地区への研修実施などアドバイスが必要な場合は、各地域リーダー(ロータリーコーディネーター、行動計画推進リーダーなど)に依頼をお願いします。**

| すべての目標   | 今後3年間の目標       |              |                |                                       |
|--|----------------|--------------|----------------|---------------------------------------|
|  | 2024-25        | 2025-26      | 2026-27        |                                       |
| ☆優先される目標   |                |              |                |                                       |
| 会員増強;本ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数  | ☆ 2380         | 2420         | ☆ 2490         | 2,300人                                |
| クラブ戦略計画;クラブにはクラブ独自の戦略計画(長期計画)があるか  | 34             | 40           | 47             | 現状は17クラブ<br>50%はほしい=60%               |
| 奉仕活動への参加;本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数  | ☆ 1200         | 1380         | ☆ 1410         | 会員の約50%=60%                           |
| 年次基金への寄付;本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額(米ドル)  | ☆ \$200,000.00 | \$220,000.00 | ☆ \$230,000.00 | 目標値の約60%弱<br>=65%                     |
| ポリオプラス基金への寄付;本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額(米ドル)  | ☆ \$40,000.00  | \$45,000.00  | ☆ \$49,000.00  | 目標値の約60%弱<br>=65%                     |
| ベネファクター;遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数   | 11             | 11           | 11             | 昨年度は6名<br>以前の実績で10名あり                 |
| そのほかの目標  |                |              |                |                                       |
| 親睦のための活動;本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数   | 100            | 110          | 120            | 68クラブ×1.5回×1.1                        |
| 奉仕プロジェクト;本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数   | 136            | 150          | 175            | 68クラブ×2回×1.1                          |
| 新会員の推薦;ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数   | 238            | 300          | 330            | 会員の10%×1.2                            |
| インターネット上の存在感;クラブの推進用資料、ウェブサイト、ソーシャルメディアでは、最新のロータリーのロゴが正しく使われ、「世界を変える行動人」としての会員のイメージを伝えているか   | 35             | 40           | 45             | クラブ数の約50%<br>=60%                     |
| ロータリー行動グループへの参加;ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数   | 5              | 5            | 5              | 37500÷24地区=7.4人                       |
| 大口寄付;本ロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数  | 1              | 1            | 1              | 現在0人                                  |
| ローターアクトクラブ;本ロータリー年度にクラブが提唱する新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数   | 24             | 25           | 26             | 現状23                                  |
| ウェブサイトとソーシャルメディアの更新;ロータリー年度中、最新の活動や一般の関心を引くような情報を反映させるために、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか  | 2              | 2            | 2              | 最低2回の例会ごと<br>クラブ活性化・RLI等<br>68×70%×2人 |
| リーダーシップ養成への参加;ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム/活動に参加する会員の数   | 95             | 100          | 105            |                                       |
| 遺贈友の会会員;遺産計画を通じてロータリー財団に10,000ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数  | 1              | 1            | 1              | 現状0人                                  |
| インターアクトクラブ;ロータリー年度にクラブが提唱する新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数  | 31             | 32           | 33             | 現状30クラブ                               |
| クラブ細則の見直しおよび更新の検討;会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されている。  | 47             | 50           | 55             | 実績44クラブ<br>クラブの70%                    |
| 地区大会への出席;地区大会に出席する会員の数   | 1000           | 1100         | 1200           | 概算実数                                  |
| 来訪する青少年交換学生;本ロータリー年度にクラブが受け入れる青少年交換学生の数  | 4              | 4            | 4              | 現状4人                                  |
| RYLA参加者;本ロータリー年度にクラブが支援するRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)参加者の数   | 40             | 50           | 60             | 実績20×2か所                              |
| ロータリー作成の公式推進用資料の使用;本ロータリー年度中、地域社会でロータリーを紹介するための投稿用として、ブランドリソースセンターから入手可能な国際ロータリー作成の推進用資料、広告、公共奉仕資料(動画、ソーシャルメディア用グラフィック、デジタルバナーなど)を使用した回数 | 70             | 70           | 70             | 各クラブ1回以上として                           |
| 派遣する青少年交換学生;本ロータリー年度にクラブが派遣する青少年交換学生の数   | 4              | 4            | 4              | 現状数                                   |
| クラブのプロジェクトのメディア掲載;本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数  | 40             | 50           | 60             | 市報も含めて<br>68×60%                      |
| ロータリー親睦活動グループへの参加;本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数  | 450            | 500          | 550            | FB交流会の426人を<br>ベースに                   |
| 地区研修への参加;役割に備えるためにラーニング行事に出席するクラブリーダーの数  | 600            | 600          | 600            | 毎年の大体の数                               |

## クラブの3年間の目標

| より大きなインパクトをもたらす   | 2024-25       | 2025-26       | 2026-27       |
|---|---------------|---------------|---------------|
| <b>年次基金への寄付</b> ; ローターリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額(米ドル)  | ☆ \$200,000.0 | ☆ \$220,000.0 | ☆ \$230,000.0 |
| <b>ポリオプラス基金への寄付</b> ; ローターリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額(米ドル)                                      | ☆ \$40,000.0  | ☆ \$45,000.0  | ☆ \$49,000.0  |
| <b>ベネファクター</b> ; 遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数 | 11            | 11            | 11            |
| そのほかの目標   |               |               |               |
| <b>奉仕プロジェクト</b> ; 本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数   | 136           | 150           | 175           |
| <b>大口寄付</b> ; 本ロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数  | 1             | 1             | 1             |
| <b>遺贈友の会会員</b> ; 遺産計画を通じてロータリー財団に10,000ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数                  | 1             | 1             | 1             |
| <b>来訪する青少年交換学生</b> ; 本ロータリー年度にクラブが受け入れる青少年交換学生の数  | 4             | 4             | 4             |
| <b>派遣する青少年交換学生</b> ; 本ロータリー年度にクラブが派遣する青少年交換学生の数   | 4             | 4             | 4             |

| 参加者の基盤を広げる  | 2024-25 | 2025-26 | 2026-27 |
|---|---------|---------|---------|
| <b>会員増強</b> ; ローターリー年度末までに達成したいクラブ会員総数                          | ☆ 2380  | ☆ 2420  | ☆ 2490  |
| そのほかの目標   |         |         |         |
| <b>新会員の推薦</b> ; ローターリー年度に新会員を推薦する現会員の数                          | 238     | 300     | 330     |
| <b>ローターアクトクラブ</b> ; 本ロータリー年度にクラブが提唱する新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数 | 24      | 25      | 26      |
| <b>インターアクトクラブ</b> ; ローターリー年度にクラブが提唱する新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数 | 31      | 32      | 33      |
| <b>RYLA参加者</b> ; ローターリー年度にクラブが支援するRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)参加者の数 | 40      | 50      | 60      |
| <b>クラブのプロジェクトのメディア掲載</b> ; 本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数    | 40      | 50      | 60      |

| 参加者の積極的ななかかわりを促す  | 2024-25 | 2025-26 | 2026-27 |
|---|---------|---------|---------|
| <b>奉仕活動への参加</b> ; ローターリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数  | ☆ 1200  | ☆ 1380  | ☆ 1410  |
| そのほかの目標   |         |         |         |
| <b>親睦のための活動</b> ; ローターリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数   | 100     | 110     | 120     |
| <b>ロータリー行動グループへの参加</b> ; ローターリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数  | 5       | 5       | 5       |
| <b>リーダーシップ養成への参加</b> ; ローターリー年度にリーダーシップ養成プログラム/活動に参加する会員の数  | 95      | 100     | 105     |
| <b>地区大会への出席</b> ; 地区大会に出席する会員の数   | 1000    | 1100    | 1200    |
| <b>ロータリー作成の公式推進用資料の使用</b> ; 本ロータリー年度中、地域社会でロータリーを紹介するための投稿用として、ブランドリソースセンターから入手可能な国際ロータリー作成の推進用資料、広告、公共奉仕資料(動画、ソーシャルメディア用グラフィック、デジタルバナーなど)を使用した回数 | 70      | 70      | 70      |
| <b>ロータリー親睦活動グループへの参加</b> ; 本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数  | 450     | 500     | 550     |
| <b>地区研修への参加</b> ; 役割に備えるためにラーニング行事に出席するクラブリーダーの数  | 600     | 600     | 600     |

| 適応力を高める   | 2024-25 | 2025-26 | 2026-27 |
|---|---------|---------|---------|
| <b>クラブ戦略計画</b> ; クラブにはクラブ独自の戦略計画(長期計画)があるか  | 34      | 40      | 47      |
| そのほかの目標   |         |         |         |
| <b>インターネット上の存在感</b> ; クラブの推進用資料、ウェブサイト、ソーシャルメディアでは、最新のロータリーのロゴが正しく使われ、「世界を変える行動人」としての会員のイメージを伝えているか     | 35      | 40      | 45      |
| <b>ウェブサイトとソーシャルメディアの更新</b> ; ローターリー年度中、最新の活動や一般の関心を引くような情報を反映させるために、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか | 2       | 2       | 2       |
| <b>クラブ細則の見直しおよび更新の検討</b> ; 会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されている。  | 47      | 50      | 55      |

